

セメント系カチオン性アクリル樹脂モルタル カチオンタイトFS



カチオンタイトFSは、耐溶剤性・仮防水性に優れたコテ塗り用のセメント系カチオン性アクリル樹脂モルタルの下地調整塗材です。

特長

- 建築から土木にいたるまで広範囲な種類の下地に対して高い接着力を示します。
- 耐溶剤性、曲げ強度、耐摩耗性、仮防水性に優れています。
- ち密な構造と特殊樹脂の効果で短期的な仮防水機能を発揮します*。
- セット化されているため調合ミスが無く特性が安定しており、作業性も抜群です。

*ひび割れがある場合はあらかじめ、漏水防止目的でシーリング処理を行ってください。



■ 用途

部位	分類	適用下地
壁	貼り仕上材	陶・磁器タイル、大理石、テラゾー
	塗り仕上材	吹付タイルの上塗材(アクリル、アクリルウレタン)、リシン(無機系は下地強化が必要)
	躯体等	PCコンクリート、コンクリート、モルタル、ALC
	ボード類	スレート板、押出し成型セメント板、合板
	爆裂・欠損	コンクリート
	その他	ガラスブロック
床	貼り仕上材	陶・磁器タイル、大理石、テラゾー
	塗り仕上材	エポキシ樹脂系塗床材、ウレタン樹脂系塗床材(薄膜タイプ)、セメントコテ磨床
	躯体等	コンクリート、モルタル
	その他	鉄部
屋上	防水保護層	保護モルタル、シンダーコンクリート

適さない下地 ▶ FRP、アスファルト、ポリエステル、アルミニウム、ステンレス、亜鉛メッキ、油面、フッ素樹脂・シリコン樹脂系仕上剤、撥水剤・ワックス塗布面、MMA、塩ビ系製品、軟質面等

注意事項

1. 塗り厚は 1mm 以上としてください。但し、コテによるもみ過ぎに注意してください。
2. 混練した材料は、1 時間(冬期は 2 時間)以内に使用してください。
3. 厚塗りする場合は、5mm 以内としてください。塗り重ねる場合は 5 時間以上経過した後としてください。
4. 吸込みが少ない下地に施工し、次工程で溶剤系材料を使用する場合、溶剤が揮発して当製品の強度が戻ったことを確認してから次工程に移ってください。

■ 次工程への間隔時間

1. コンクリート下地の場合、気温 23℃で約 12 時間以上を目安としてください。
2. 仕上げにタイルやモルタルなどの重量物を施工する場合は約 36 時間以上を目安としてください。

■ 容量・形態

	内容量(kg)	練上り量(ℓ)	形態
20kg セット	主 材 16.0	11.7	PP缶
	硬化液 4.0		
64kg セット	主 材 25.5×2	37.6	袋 缶
	硬化液 13.0		

■ 施工概算

標準塗り厚(mm)	1.0~3.0		
塗り厚(mm)	1.0	2.0	3.0
kg/㎡使用量	1.7	3.4	5.1
20kgセット 施工面積(㎡)	11.7	5.9	3.9
64kgセット 施工面積(㎡)	37.6	18.8	12.5